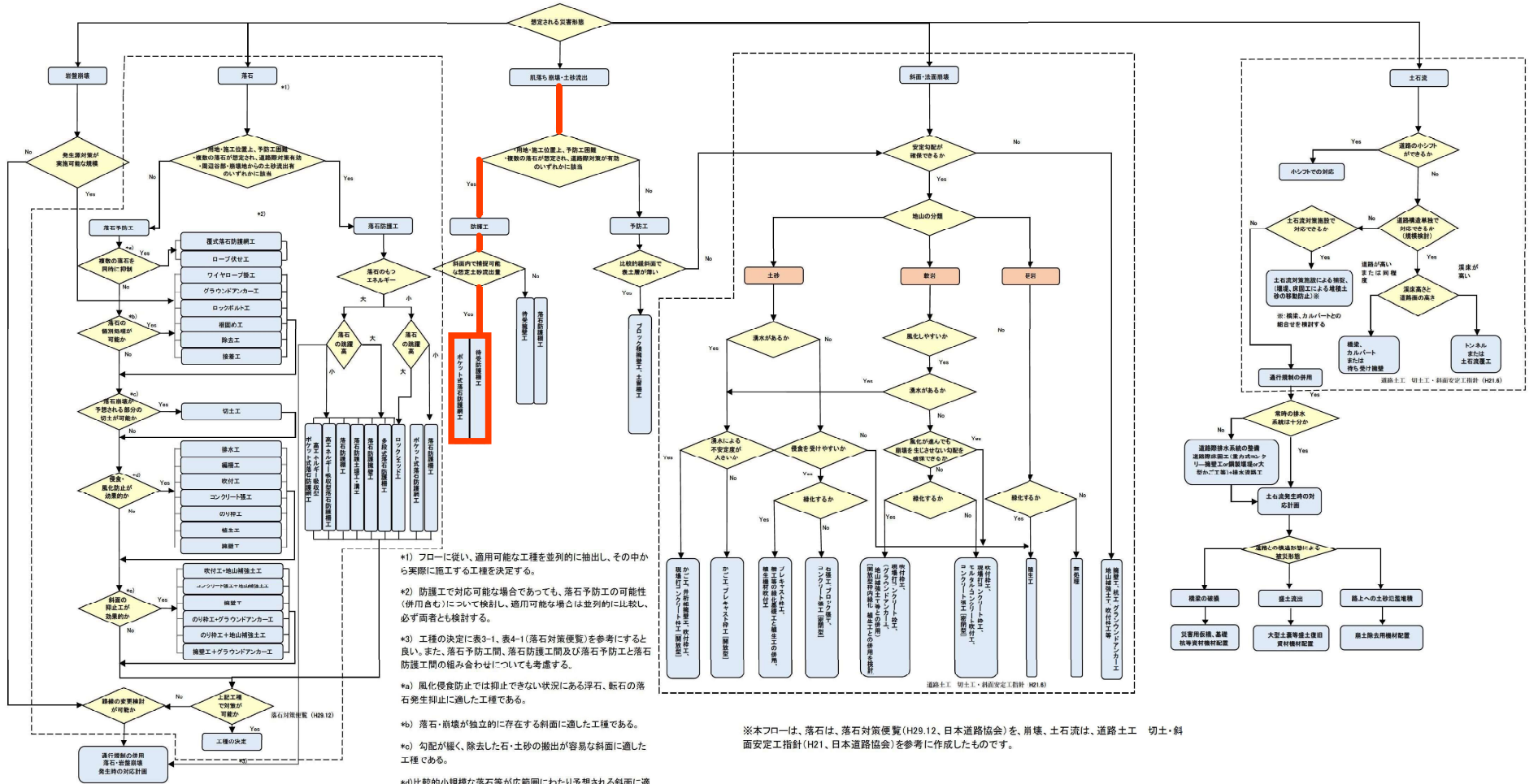


落石防護網工

想定される災害形態ごとの対応方法フロー



- \*1) フローに従い、適用可能な工種を並列的に抽出し、その中から実際に施工する工種を決定する。
- \*2) 防護工に対応可能な場合であっても、落石予防工の可能性(併用含む)について検討し、適用可能な場合は並列的に比較し、必ず両者とも検討する。
- \*3) 工種の決定に表3-1、表4-1(落石対策要覧)を参考にすると良い。また、落石予防工間、落石防護工間及び落石予防工と落石防護工間の組み合わせについても考慮する。
- \*4) 風化侵食防止では抑止できない状況にある浮石、転石の落石発生抑止に適した工種である。
- \*5) 落石・前壊が独立に存在する斜面に適した工種である。
- \*6) 勾配が緩く、除去した土・土砂の搬出が容易な斜面に適した工種である。
- \*7) 比較的小規模な落石等が広範囲にわたり予想される斜面に適した工種である。
- \*8) 落石予防工と落石防護工を組み合わせて用いることにより比較的大規模な落石・前壊が広範囲にわたり予想される斜面に適用可能な工種である。

図 10.6.1 対策工法選定フロー